

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 姫路市 (都道府県: 兵庫県)
 本事業の担当部局名 こども未来局 こども育成部 こども総務課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施		
個別事業名	若年層のライフプランニング推進事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日 ~	令和7年3月31日	事業開始年度 令和4年度

自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2

(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通
 急速に進展する少子化が市民生活に深刻かつ多大な影響を及ぼすことに鑑み、令和2年4月に少子化対策室を新設し、出会い・結婚・妊娠・出産、子育ての各フェーズに応じた総合的な少子化対策として、若年層のライフプランニング推進事業、若年層の出会い支援事業、結婚新生活支援事業、妊産婦タクシー利用料金助成事業、多子世帯への出産祝金事業を行っている。
 しかしながら、婚姻数、出生数は減少し続けており、事業効果が現れるには至っていない状況にある。

(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)
 <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通
 令和6年度予算編成の基本方針において、4つの重点取組の1つとして「少子化対策・子ども支援」を掲げており、本市のまちづくりの指針となる総合計画で目指す都市像「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」の実現に向け、市民の「命」「くらし」「一生」を守り支えることを基本に、「活力」ある姫路を創造するため、重点施策として積極的に取り組むこととしている。

<本個別事業の位置付け>
 本市の最上位計画である「姫路市総合計画」において、主要事業の1つとして「若年層のライフプランニング推進事業」を位置付けている。

(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))
 <課題>
 令和5年度に保健師によるプレコンセプションケアの講話を取り入れ内容の充実を図るも、セミナー全体における講話(説明)時間が長くなったことによりワークショップの時間が不足した。
 年齢層が上がるにつれライフデザインに対する意識が高く、その分、高い効果が得られると思われる。
 <対策>
 講話を効率的・効果的に実施するため、ライフデザイン及びプレコンセプションケアに関するショート動画(令和5年12月制作)を活用し、時間配分を見直す。
 新たに(新)社会人を対象に加え、ライフデザインセミナーを実施する。

番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
1	ライフデザインセミナー	<p>■実施内容</p> <p><開催前> ライフデザインシートの事前準備として価値観シートを作成し、改めて何に関心・興味があり、どのような人物に憧れを抱き、誰とどのように将来を過ごしたいかなどについて整理する。</p> <p><当日> 市職員(一般行政職、保健師)、外部講師(ライフプランナー・ファイナンシャルプランナー)による講話及びワークショップを開催する。 一般行政職員は少子化の現状(姫路の人口動態や人口減少がもたらす影響、少子化の原因、恋愛・結婚の実態等)について、保健師はプレコンセプションケアについて、ショート動画を活用しながら効率的・効果的に講義を行う。 外部講師によるライフデザインの必要性・実施方法についての説明の後、受講者が価値観シートやライフデザインシートを作成するワークショップを実施し、自身の将来について考える機会としながら、各自作成したライフデザインシートをグループ内で共有することで、様々な生き方・考え方・選択肢があることを知り、さらに自身の人生設計を深化させる。</p> <p><開催後> アンケート調査を実施し、結果を受講者へフィードバックすることにより、セミナーの受講前後での考え方の変化等を共有し、改めてライフデザインの重要性を認識させる。</p> <p>■開催時期・参加見込み人数 ・高校生: 通年、2校 150人程度 ・大学生: 後期、2校 50人程度 ・社会人: 通年、2社 50人程度</p> <p>■特記事項 令和4年、5年に受講した同じ高校生を対象に令和6年も実施することとしており、ライフデザインセミナー受講後に将来に対する考え方や計画、普段の生活等に変化が生じたか否かについて調査・分析し、事業効果について検証することとしている。 また、大学生を対象にしたセミナーでは、副専攻である「地域創生人材教育プログラム」のカリキュラムの1つである「自分のための地域プロジェクトの計画1: キャリアデザイン」の中でライフデザインセミナーの実施を予定している。</p>	○	○

個別事業の内容

※(注)3	【次年度以降に向けた事業の方向性】 対象者に応じた実施内容を見直しつつ、新たに社会人を対象としたライフデザインセミナーを実施していく。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・学生向けライフデザインセミナー(山形県 しあわせ子育て応援部 しあわせ子育て政策課) ・中学生のためのライフデザインセミナー(茨城県 小美玉市 教育委員会 子ども課)				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	出生数(令和6年)	人	3,600	3,573 (R5年速報値)	
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目	単位	直近の実績		
	合計特殊出生率		1.46 (R3年)		
	婚姻件数	件	2,229 (R3年)		
	婚姻率		4.2 (R3年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	事業内容番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	実施回数	回	6	4 (R5年)
	2	受講者数	人	250	155 (R5年)
	3				
		(アウトカム)			
	1	受講者アンケート: 将来、結婚したいと思う割合	%	80.0	71.6 (R5年)
2	受講者アンケート: 将来、子どもを欲しいと思う割合	%	75.0	67.6 (R5年)	
3					
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	なし				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	一般行政職員は少子化の現状(姫路の人口動態や人口減少がもたらす影響、少子化の原因、恋愛・結婚の実態等)について、保健師はプレコンセプションケアについて講義を担当する。 外部講師(ライフプランナー・ファイナンシャルプランナー)はライフデザインの必要性・実施方法についての説明、ライフデザインシートを作成するワークショップを担当する。				

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。
- ①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題
- ②当年度の少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け
- ③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。
- ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
- ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
- ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。